

千里の風

No.12
2013 年度歴史教育者協議会
全国大会・大阪
大会速報「千里の風」
編集・発行：現地実行委員会

分科会の感想から（その2）

平和分科会 深く 広い内容 学校・地域での活動を交流

長野・飯島さんのお話に驚きました。「国体護持」の実態を伝える、松本の松代大本営を生徒達と調べ、保存させてきた方でした。満州開拓団だった祖父母・曾祖父母に聞き取りながら、一人一人のルーツやいきさつを明らかにしていく篠ノ井での実践にも感嘆しました。

琉球大学で平和ガイドをしていた松田浩史さんが、愛知の高校の先生になり、沖縄を学び、沖縄・愛知の高校生がつながっていく実践もすばらしいものでした。

「平和のための戦争展」を若い世代に広げ、充実させようと、千葉・小林光代さんと大阪堺の交流ができました。平和学習の成果を展示し、戦争展の成果を教育に活用しよう、子どもたちが活躍する戦争展へ努力しようなど、話し合いました。

被爆者の長崎・末永浩さんの手作り紙芝居や、東京高校生平和ゼミナールを支え続けている中出律さんの粘り強い活動など、さすが歴教協の平和活動と感じる、多彩な学ぶことの多い1日目でした。（大阪・女性 60代）



中学地理分科会

初めての全国大会参加でしたが、とても授業に直結するような話が展開されていて、来て良かったと感じました。特に春名先生の報告は、自分自身の実践を根本的に変えられるものでありがたかったです。（山梨、男性、40代）

初めて参加させていただきました。原発のことや過疎地の取り組みなど、大変興味深かったです。現地へ足を運んで、教材化されている方が多く、自分も見習いたいと刺激を受けました。自分の発表では、あまり重要と考えていなかったプライバシーの問題点や地図

と電池地図の使い分け等、これからの社会科学学習に関わる提起があったのではないかと思います。(兵庫、男性、20代)

6年分科会

2学期以降の授業に役立てられそうなヒントをたくさんいただきました。江戸時代のくらしと旅についてはからは、自分でも地元の研究機関にあたることを教えて頂きました。「身近」「モノ」が授業づくりのキーワードとなることを改めて知らされました。(神奈川 男性)

農業・食糧・食育

TPPに関わることについての的確に問題提起して頂き大変ありがたかった。消費者意識をどう育てるか、これは学校教育の担うところが大きいと感じる。3年生の買い物学習、5年の日本の農業など。(神奈川 女性40代)

中学校公民

初めて公民分科会に参加しました。地歴とどのようにリンクできるのか?と思い参加しましたが、「主権者を育てるために…」という公民最大のねらいに少しビクビクしながらのスタートでした。しかし、先生方のたくさんのことを意図した実践を、意見・質問が止まらない雰囲気、すごかったです。一番難しかったのは「公正」と「効率」です。どの場面でどんな風に教えるのか、考えさせるのか…結論が出ませんでした。でも、たくさん先生方も悩みながら授業を考えていること、そして様々な取り組みに感銘を受けると同時に勇気ももらいました。私も、がんばります。(埼玉、女性20代)

高校（第19分科会）

織原さんの「学ぶことは生きること」の報告では、自らが高校生であった頃の成長経過を出身高校の先生と交流できる学習ノートの取り組みから考察があり、とても興味深かったです。

(中略) 高校での学習が「自分を苦しめるもの」から「自分を救ってくれるもの」へと変えた織原さんご本人と、それを支えた教員に拍手を送りたい!!! 私も卒業生が「ほんものの教育」を得ることができたと感じられるような努力をしていきたいです。(京都 女性20代)

↓中学校公民分科会

